

自主的審議事項「雁木の保存を考えたまちづくりについて」グループ討議検討結果

現状の問題点（課題）	解決するための具体的な方法（対応策）	理想の在り方（結果）
「雁木」自体の問題点 ・ 雁木の減少、老朽化、建替え、間口の狭さ など ・ 雁木は民地であり、個人の所有物	・ 雁木の連たん（長さ）よりも、昔ながらの雁木が良く整備され残されているかを重視する ・ 市が「モデル地区」、または比較的良好に残存している地域を「優良地区」として指定し、重点整備する（都市計画・街づくり・観光等に雁木をリンクさせる）	・ 生活基盤としての雁木を、規則等により（物理的に）保存できる ・ 住民自身の「雁木を残そう」という意識を向上させることができる ・ 観光客に雁木の魅力を伝えることで、人の賑わい創出を図ることができる
「雁木」に住む住民の問題点 ・ 住民の雁木に対する認識不足（あることが当然であり、雁木の利点を理解していない） ・ 雁木を守るための資金源 ・ プライベートが守れない	・ ゆるやかな「指定」から「規制」していく地域への移行 ・ 現行の雁木に対する一律の補助金制度を止める ・ 雁木の町に住む魅力や利便性、メリットを住民自身に認識させる	
「雁木」の規制等に関する問題点 ・ 市として基本的、統一的な「雁木」の規則やルールがない。	・ 雁木に住んでいる住民に、自分たちの住んでいる場所が「優良地区」であることを認識してもらう	
「雁木」を取り巻く周辺等の問題点 ・ 人口減少、高齢化 ・ 生活スタイルの変化（徒歩から自動車へ）（駐車場のスペースがない）（周辺店舗の減少） ・ ドーナツ化現象 ・ 経済や商業活動の停滞 ・ 火防道路の除雪等 ・ 新しい区画整理事業と雁木を守ることの矛盾（維持管理が非効率）	・ 市がリーダーシップをとって、雁木の保存に関する「ガイドライン」や「規則」等を作成する 雁木の保存に関する「長期計画」を立てる 「雁木の保存宣言」を行う ・ 日本一の雁木を桜やハスとともに PR していく（インターネット等で情報を配信する） ・ 雁木のある地区の空き家、空き地を市が買い上げ、地域医療に従事する医師に譲渡する	